

【表紙】

| | |
|------------|------------------------------------|
| 【提出書類】 | 四半期報告書 |
| 【根拠条文】 | 金融商品取引法第24条の4の7第1項 |
| 【提出先】 | 東海財務局長 |
| 【提出日】 | 平成24年2月10日 |
| 【四半期会計期間】 | 第82期第3四半期（自平成23年10月1日至平成23年12月31日） |
| 【会社名】 | 株式会社エフ・シー・シー |
| 【英訳名】 | F.C.C. CO.,LTD. |
| 【代表者の役職氏名】 | 代表取締役社長 住田 四郎 |
| 【本店の所在の場所】 | 静岡県浜松市北区細江町中川7000番地の36 |
| 【電話番号】 | 053(523)2400(代表) |
| 【事務連絡者氏名】 | 取締役事業管理統括 木村 光雅 |
| 【最寄りの連絡場所】 | 静岡県浜松市北区細江町中川7000番地の36 |
| 【電話番号】 | 053(523)2400(代表) |
| 【事務連絡者氏名】 | 取締役事業管理統括 木村 光雅 |
| 【縦覧に供する場所】 | 株式会社東京証券取引所 (東京都中央区日本橋兜町2番1号) |

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

| 回次 | 第81期 第3四半期 連結累計期間 | 第82期 第3四半期 連結累計期間 | 第81期 |
|---------------------------------|----------------------------|----------------------------|---------------------------|
| 会計期間 | 自平成22年4月1日 至平成22年12月31日 | 自平成23年4月1日 至平成23年12月31日 | 自平成22年4月1日 至平成23年3月31日 |
| 売上高(百万円) | 88,416 | 85,160 | 117,621 |
| 経常利益(百万円) | 10,061 | 7,857 | 12,672 |
| 四半期(当期)純利益(百万円) | 6,855 | 5,339 | 8,041 |
| 四半期包括利益又は包括利益 (百万円) | 4,404 | 1,908 | 5,518 |
| 純資産額(百万円) | 76,166 | 76,924 | 77,268 |
| 総資産額(百万円) | 96,914 | 96,881 | 98,531 |
| 1株当たり四半期(当期)純利益 金額(円) | 136.60 | 106.38 | 160.23 |
| 潜在株式調整後1株当たり四半期 (当期)純利益金額(円) | - | - | - |
| 自己資本比率(%) | 72.22 | 73.45 | 71.97 |

| 回次 | 第81期 第3四半期 連結会計期間 | 第82期 第3四半期 連結会計期間 |
|----------------------|-----------------------------|-----------------------------|
| 会計期間 | 自平成22年10月1日 至平成22年12月31日 | 自平成23年10月1日 至平成23年12月31日 |
| 1株当たり四半期純利益金額 (円) | 45.13 | 51.70 |

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。
3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。
4. 第81期第3四半期連結累計期間の四半期包括利益の算定にあたり、「包括利益の表示に関する会計基準」(企業会計基準第25号 平成22年6月30日)を適用し、遡及処理しております。

2【事業の内容】

当第3四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

当第3四半期連結累計期間において、新たな事業等のリスクの発生、または、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについての重要な変更はありません。

2【経営上の重要な契約等】

当第3四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループ（当社及び連結子会社）が判断したものであります。

(1) 業績の状況

当第3四半期連結累計期間の業績は、インドネシア、インド等における二輪車用クラッチ販売は順調に推移したものの、東日本大震災及びタイの洪水の影響による主要顧客の四輪車生産の減産、並びに円高の影響等により売上高は85,160百万円（前年同期比3.7%減）、営業利益は7,940百万円（前年同期比23.0%減）、経常利益は7,857百万円（前年同期比21.9%減）、税金等調整前四半期純利益は7,943百万円（前年同期比21.1%減）、四半期純利益は5,339百万円（前年同期比22.1%減）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

二輪車用クラッチ

主にインドネシア、インド等における二輪車需要の増加に加え、国内で輸出用の大型二輪車用クラッチ販売が増加したことにより売上高は53,582百万円（前年同期比5.7%増）、セグメント利益は円高の影響等もあり7,682百万円（前年同期比0.6%増）となりました。

四輪車用クラッチ

フォード向け販売は堅調に推移いたしました。東日本大震災及びタイの洪水の影響による主要顧客の国内外における減産、並びに円高の影響等により売上高は31,578百万円（前年同期比16.3%減）、セグメント利益は257百万円（前年同期比90.4%減）となりました。

当第3四半期連結会計期間末の総資産は96,881百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,649百万円減少いたしました。流動資産は51,294百万円となり、1,134百万円減少いたしました。これは主に受取手形及び売掛金が1,991百万円、たな卸資産が467百万円それぞれ増加したものの、現金及び預金が3,939百万円減少したことによるものであります。固定資産は45,586百万円となり515百万円減少いたしました。これは主に有形固定資産が1,102百万円増加したものの、投資有価証券の時価評価により投資有価証券が1,445百万円減少したことによるものであります。

当第3四半期連結会計期間末の負債合計は19,957百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,305百万円減少いたしました。流動負債は16,150百万円となり、459百万円減少いたしました。これは主に支払手形及び買掛金が1,163百万円増加したものの、短期借入金が1,236百万円減少したことによるものであります。固定負債は3,807百万円となり、845百万円減少いたしました。

当第3四半期連結会計期間末の純資産は76,924百万円となり、前連結会計年度末に比べ344百万円減少いたしました。これは主に利益剰余金が3,732百万円増加したものの、投資有価証券の時価評価によりその他有価証券評価差額金が672百万円、為替換算調整勘定が2,814百万円、少数株主持分が590百万円それぞれ減少したことによるものであります。

(2) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第3四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

(3) 研究開発活動

当第3四半期連結累計期間におけるグループ全体の研究開発活動の金額は、2,199百万円であります。

なお、当第3四半期連結累計期間において、当社グループの研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

(4) 経営成績に重要な影響を与える主な要因とその対応について

当社の四半期連結財務諸表は、換算リスク及び取引リスクを通じて為替レートの変動による影響を受けております。為替レートの変化は当社の売上高、売上総利益、営業利益、経常利益、四半期純利益及び剰余金に対して影響を及ぼします。当社グループは取引リスクを軽減するため、各海外連結子会社における現地調達比率の向上及び部品、製品の相互補完を推進しております。

また、当社の売上高に占める、主要販売先である本田技研工業(株)及びその関係会社向け売上高の比率は、前連結会計年度において67%となっており、同社グループの生産動向及び購買政策が当社の経営成績に重要な影響を与えます。当社グループは安定的経営基盤を確保するため積極的に拡販を行っております。また、新製品開発のため研究開発体制の強化に努めております。

(5) 流動性及び資金の源泉

当社グループは、事業活動のための適切な資金確保、適切な流動性の維持及び健全なバランスシートの維持を財務方針としており、設備投資及び研究開発のための資金は主に営業活動から得られた資金によりまかなうことを基本方針としております。

平成24年3月期の設備投資及び研究開発のための資金は、主に手許の現金及び現金同等物と営業活動から得られた現金及び現金同等物を充当する予定であります。

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

【株式の総数】

| 種類 | 発行可能株式総数(株) |
|------|-------------|
| 普通株式 | 90,000,000 |
| 計 | 90,000,000 |

【発行済株式】

| 種類 | 第3四半期会計期間末現在発行数(株) (平成23年12月31日) | 提出日現在発行数(株) (平成24年2月10日) | 上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名 | 内容 |
|------|-------------------------------------|-----------------------------|------------------------------------|---------------|
| 普通株式 | 52,644,030 | 52,644,030 | 東京証券取引所 市場第一部 | 単元株式数 100株 |
| 計 | 52,644,030 | 52,644,030 | - | - |

(2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

| 年月日 | 発行済株式総 数増減数 (株) | 発行済株式総 数残高(株) | 資本金増減額 (百万円) | 資本金残高 (百万円) | 資本準備金増 減額 (百万円) | 資本準備金残 高(百万円) |
|----------------------------|-----------------------|------------------|-----------------|----------------|-----------------------|------------------|
| 平成23年10月1日～ 平成23年12月31日 | - | 52,644,030 | - | 4,175 | - | 4,555 |

(6)【大株主の状況】

当四半期会計期間は第3四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7) 【議決権の状況】

当第3四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日（平成23年9月30日）に基づく株主名簿による記載をしております。

【発行済株式】

平成23年12月31日現在

| 区分 | 株式数(株) | 議決権の数(個) | 内容 |
|----------------|-----------------|----------|----|
| 無議決権株式 | - | - | - |
| 議決権制限株式(自己株式等) | - | - | - |
| 議決権制限株式(その他) | - | - | - |
| 完全議決権株式(自己株式等) | 普通株式 2,455,000 | - | - |
| 完全議決権株式(その他) | 普通株式 50,177,000 | 501,770 | - |
| 単元未満株式 | 普通株式 12,030 | - | - |
| 発行済株式総数 | 52,644,030 | - | - |
| 総株主の議決権 | - | 501,770 | - |

(注) 「完全議決権株式(その他)」の欄には、証券保管振替機構名義の株式が3,700株含まれております。また、「議決権の数」欄には、同機構名義の完全議決権株式に係る議決権の数37個が含まれております。

【自己株式等】

平成23年12月31日現在

| 所有者の氏名又は名称 | 所有者の住所 | 自己名義所有株式数(株) | 他人名義所有株式数(株) | 所有株式数の合計(株) | 発行済株式総数に対する所有株式数の割合(%) |
|--------------|------------------------|--------------|--------------|-------------|------------------------|
| 株式会社エフ・シー・シー | 静岡県浜松市北区細江町中川7000番地の36 | 2,455,000 | - | 2,455,000 | 4.66 |
| 計 | - | 2,455,000 | - | 2,455,000 | 4.66 |

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

第4【経理の状況】

1. 四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

2. 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第3四半期連結会計期間（平成23年10月1日から平成23年12月31日まで）及び第3四半期連結累計期間（平成23年4月1日から平成23年12月31日まで）に係る四半期連結財務諸表について、監査法人保森会計事務所による四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】
(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (平成23年3月31日) | 当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日) |
|---------------|-------------------------|-------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 22,836 | 18,896 |
| 受取手形及び売掛金 | 14,339 | 16,330 |
| たな卸資産 | 11,973 | 12,441 |
| その他 | 3,283 | 3,632 |
| 貸倒引当金 | 4 | 5 |
| 流動資産合計 | 52,428 | 51,294 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物 | 22,393 | 22,082 |
| 減価償却累計額 | 10,964 | 11,178 |
| 建物及び構築物(純額) | 11,428 | 10,904 |
| 機械装置及び運搬具 | 59,422 | 60,238 |
| 減価償却累計額 | 45,285 | 45,814 |
| 機械装置及び運搬具(純額) | 14,137 | 14,424 |
| 工具、器具及び備品 | 10,817 | 10,540 |
| 減価償却累計額 | 9,464 | 9,268 |
| 工具、器具及び備品(純額) | 1,353 | 1,272 |
| 土地 | 7,471 | 7,320 |
| 建設仮勘定 | 1,103 | 2,674 |
| 有形固定資産合計 | 35,493 | 36,596 |
| 無形固定資産 | | |
| のれん | 1,307 | 1,101 |
| その他 | 466 | 464 |
| 無形固定資産合計 | 1,773 | 1,565 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 6,791 | 5,345 |
| その他 | 2,096 | 2,130 |
| 貸倒引当金 | 52 | 50 |
| 投資その他の資産合計 | 8,835 | 7,425 |
| 固定資産合計 | 46,102 | 45,586 |
| 資産合計 | 98,531 | 96,881 |

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (平成23年3月31日) | 当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日) |
|---------------|-------------------------|-------------------------------|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 7,355 | 8,519 |
| ファクタリング債務 | 2,330 | 2,315 |
| 短期借入金 | 1,433 | 196 |
| 未払法人税等 | 944 | 556 |
| 賞与引当金 | 1,380 | 786 |
| その他 | 3,165 | 3,775 |
| 流動負債合計 | 16,609 | 16,150 |
| 固定負債 | | |
| 長期借入金 | 139 | 50 |
| 退職給付引当金 | 1,355 | 1,335 |
| 役員退職慰労引当金 | 23 | 11 |
| その他 | 3,135 | 2,409 |
| 固定負債合計 | 4,653 | 3,807 |
| 負債合計 | 21,262 | 19,957 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 4,175 | 4,175 |
| 資本剰余金 | 4,566 | 4,566 |
| 利益剰余金 | 73,050 | 76,783 |
| 自己株式 | 3,407 | 3,407 |
| 株主資本合計 | 78,384 | 82,117 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 2,792 | 2,119 |
| 為替換算調整勘定 | 10,262 | 13,077 |
| その他の包括利益累計額合計 | 7,470 | 10,957 |
| 少数株主持分 | 6,354 | 5,764 |
| 純資産合計 | 77,268 | 76,924 |
| 負債純資産合計 | 98,531 | 96,881 |

(2)【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第3四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

| | 前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日) | 当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日) |
|---------------------|--|--|
| 売上高 | 88,416 | 85,160 |
| 売上原価 | 70,687 | 69,241 |
| 売上総利益 | 17,729 | 15,918 |
| 販売費及び一般管理費 | | |
| 荷造及び発送費 | 1,044 | 914 |
| 給料及び手当 | 1,850 | 2,018 |
| 賞与引当金繰入額 | 101 | 133 |
| 退職給付費用 | 171 | 198 |
| 役員退職慰労引当金繰入額 | 0 | - |
| 減価償却費 | 153 | 150 |
| 研究開発費 | 2,078 | 2,199 |
| その他 | 2,011 | 2,363 |
| 販売費及び一般管理費合計 | 7,412 | 7,978 |
| 営業利益 | 10,316 | 7,940 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 118 | 258 |
| 受取配当金 | 76 | 94 |
| 持分法による投資利益 | 94 | 47 |
| その他 | 194 | 208 |
| 営業外収益合計 | 484 | 608 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 29 | 18 |
| 為替差損 | 697 | 637 |
| その他 | 12 | 35 |
| 営業外費用合計 | 739 | 691 |
| 経常利益 | 10,061 | 7,857 |
| 特別利益 | | |
| 固定資産売却益 | 44 | 40 |
| 負ののれん発生益 | - | 83 |
| 補助金収入 | 40 | 40 |
| 特別利益合計 | 84 | 164 |
| 特別損失 | | |
| 固定資産除売却損 | 49 | 78 |
| 資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額 | 22 | - |
| その他 | 0 | - |
| 特別損失合計 | 72 | 78 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 10,073 | 7,943 |
| 法人税等 | 2,324 | 1,899 |
| 少数株主損益調整前四半期純利益 | 7,748 | 6,043 |
| 少数株主利益 | 893 | 704 |
| 四半期純利益 | 6,855 | 5,339 |

【四半期連結包括利益計算書】
【第3四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

| | 前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日) | 当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日) |
|------------------|--|--|
| 少数株主損益調整前四半期純利益 | 7,748 | 6,043 |
| その他の包括利益 | | |
| 其他有価証券評価差額金 | 123 | 711 |
| 為替換算調整勘定 | 3,223 | 3,434 |
| 持分法適用会社に対する持分相当額 | 2 | 11 |
| その他の包括利益合計 | 3,344 | 4,134 |
| 四半期包括利益 | 4,404 | 1,908 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 3,688 | 1,863 |
| 少数株主に係る四半期包括利益 | 715 | 45 |

【四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理】

| | |
|------------|---|
| | 当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日) |
| 1. 税金費用の計算 | 税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。 |

【追加情報】

| | |
|---|--|
| | 当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日) |
| (会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用) | |
| 第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」(企業会計基準第24号平成21年12月4日)及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第24号平成21年12月4日)を適用しております。 | |

【注記事項】

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

| | 前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日) | 当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日) |
|---------|--|--|
| 減価償却費 | 5,050百万円 | 4,629百万円 |
| のれんの償却額 | 40 | 206 |

(株主資本等関係)

前第3四半期連結累計期間(自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)

配当金支払額

| (決議) | 株式の種類 | 配当金の総額 (百万円) | 1株当たり 配当額(円) | 基準日 | 効力発生日 | 配当の原資 |
|----------------------|-------|-----------------|-----------------|------------|-------------|-------|
| 平成22年6月24日 定時株主総会 | 普通株式 | 652 | 13 | 平成22年3月31日 | 平成22年6月25日 | 利益剰余金 |
| 平成22年10月27日 取締役会 | 普通株式 | 803 | 16 | 平成22年9月30日 | 平成22年11月29日 | 利益剰余金 |

当第3四半期連結累計期間(自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)

配当金支払額

| (決議) | 株式の種類 | 配当金の総額 (百万円) | 1株当たり 配当額(円) | 基準日 | 効力発生日 | 配当の原資 |
|----------------------|-------|-----------------|-----------------|------------|-------------|-------|
| 平成23年6月28日 定時株主総会 | 普通株式 | 803 | 16 | 平成23年3月31日 | 平成23年6月29日 | 利益剰余金 |
| 平成23年10月26日 取締役会 | 普通株式 | 803 | 16 | 平成23年9月30日 | 平成23年11月28日 | 利益剰余金 |

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

| | 二輪車用クラッチ | 四輪車用クラッチ | 合計 | 調整額 | 四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2 |
|-----------------------|----------|----------|--------|-----|--------------------------------|
| 売上高 | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 50,691 | 37,724 | 88,416 | - | 88,416 |
| セグメント間の内部 売上高又は振替高 | - | - | - | - | - |
| 計 | 50,691 | 37,724 | 88,416 | - | 88,416 |
| セグメント利益 | 7,638 | 2,677 | 10,316 | - | 10,316 |

(注) 1. 二輪車用クラッチセグメントにおける当第3四半期連結累計期間ののれんの償却額は40百万円であります。

2. 各セグメント利益の合計金額は、四半期連結損益計算書上の営業利益と一致しております。

3. 会計方針の変更

「資産除去債務に関する会計基準」の適用

第1四半期連結会計期間より「資産除去債務に関する会計基準」(企業会計基準第18号 平成20年3月31日)及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日)を適用しております。

これにより二輪車用クラッチのセグメント利益が0百万円、四輪車用クラッチのセグメント利益が1百万円それぞれ減少しております。

4. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

当第3四半期連結累計期間(自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)

(のれんの金額の重要な変動)

「二輪車用クラッチ」セグメントにおいて、当社は東北化工株式会社の全株式を取得いたしました。なお、当該事象によるのれんの増加額は、当第3四半期連結累計期間において1,376百万円であります。

当第3四半期連結累計期間(自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

| | 二輪車用クラッチ | 四輪車用クラッチ | 合計 | 調整額 | 四半期連結 損益計算書 計上額 (注) |
|-----------------------|----------|----------|--------|-----|------------------------------|
| 売上高 | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 53,582 | 31,578 | 85,160 | - | 85,160 |
| セグメント間の内部 売上高又は振替高 | - | - | - | - | - |
| 計 | 53,582 | 31,578 | 85,160 | - | 85,160 |
| セグメント利益 | 7,682 | 257 | 7,940 | - | 7,940 |

(注) 各セグメント利益の合計金額は、四半期連結損益計算書上の営業利益と一致しております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

| | 前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日) | 当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日) |
|----------------------|--|--|
| 1株当たり四半期純利益金額 | 136円60銭 | 106円38銭 |
| (算定上の基礎) | | |
| 四半期純利益金額(百万円) | 6,855 | 5,339 |
| 普通株主に帰属しない金額(百万円) | - | - |
| 普通株式に係る四半期純利益金額(百万円) | 6,855 | 5,339 |
| 普通株式の期中平均株式数(千株) | 50,189 | 50,189 |

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

平成23年10月26日開催の取締役会において、当期中間配当に関し、次のとおり決議いたしました。

(イ) 中間配当による配当金の総額 803百万円

(ロ) 1株当たりの金額 16円00銭

(ハ) 支払請求の効力発生日及び支払開始日 平成23年11月28日

(注) 平成23年9月30日現在の株主名簿に記載又は記録された株主に対し、支払いを行っております。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成24年2月9日

株式会社エフ・シー・シー
取締役会 御中

監査法人 保森会計事務所

代表社員 公認会計士 若林正和 印
業務執行社員

代表社員 公認会計士 津倉真 印
業務執行社員

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社エフ・シー・シーの平成23年4月1日から平成24年3月31日までの連結会計年度の第3四半期連結会計期間（平成23年10月1日から平成23年12月31日まで）及び第3四半期連結累計期間（平成23年4月1日から平成23年12月31日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社エフ・シー・シー及び連結子会社の平成23年12月31日現在の財政状態及び同日をもって終了する第3四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が、別途保管しております。

2. 四半期連結財務諸表の範囲にはX B R Lデータ自体は含まれていません。